

三 被扶養者ガ男子ナルトキハ「男女」欄ノ「女」ノ文字ヲ、女子ナルトキハ其ノ「男」ノ文字ヲ抹消スベシ

興亞鍊成所規程の公布

興亞鍊成所規程は昭和十八年五月四日付官報を以て左の如く公布せられた。

興亞鍊成所規程 (昭和十八年五月四日) (大東亞協會令第十七號)

- 第一條 興亞鍊成所ニ入所シ鍊成ヲ受ケル者ハ興亞鍊成所生(以下所生ト稱ス)ト稱ス
- 第二條 所生ノ定員ハ大東亞大臣之ヲ定ム
- 第三條 興亞鍊成所ノ鍊成期間ハ三ヶ月トス
- 第四條 興亞鍊成所ノ鍊成綱領ハ大東亞大臣之ヲ定ム
- 第五條 興亞鍊成所ニ入所スヘキ者ハ專門學校卒業程度以上ノ學力ヲ有シ官衙、學校、會社又ハ團體ノ長ノ推薦シタル者ノ中ヨリ大東亞大臣ノ認可ヲ經テ所長之ヲ選定ス
- 第六條 所生ニハ別ニ定ムル所ニ依リ食費及旅費等ヲ給シ鍊成ニ必要ナル被服及物品ノ一部ヲ貸與ス
- 第七條 所長ハ所生ニシテ疾病其ノ他事故ニ因リ不適當ト認ムル者アルトキハ大東亞大臣ノ認可ヲ經テ退所セシムルコトヲ得
- 第八條 所生ニシテ所定ノ鍊成ヲ修了シタル者ニ對シテハ所長鍊成證書ヲ授與ス
- 第九條 本規程ニ定ムルモノノ外所生鍊成上必要ナル事項ハ大東亞大臣ノ認可ヲ經テ所長之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十六年閉令第八號ハ之ヲ廢止ス

〔參照〕

昭和十六年四月二日閉令第八號ハ從前ノ同規程ナリ

昭和十八年法律第二十一號農業保險法中改正法律施行日期の件公布

法中改正法律施行日期の件公布

昭和十八年法律第二十一號農業保險法中改正法律施行日期の件は、昭和十八年五月十四日付官報を以て左の如く公布せられた。

昭和十八年法律第二十一號農業保險法中改正法律施行日期の件

(昭和十八年五月十三日) (勅令第四百十四號)

昭和十八年法律第二十一號ハ昭和十八年五月十五日ヨリ之ヲ施行ス

農業保險法施行令中改正ノ件公布

農業保險法施行令中改正の件は、昭和十八年五月十四日付官報を以て左の如く公布せられた。

農業保險法施行令中改正ノ件

(昭和十八年五月十三日) (勅令第四百十五號)

農業保險法施行令中左ノ通改正ス

第一條、第二條第一項及第三條中「第一條第三項」ヲ

「第一條第五項」ニ改ム

第五條第二項中「純保險料率及附加保險料率」ノ下ニ「竝ニ保險スベキ共濟責任」ヲ加フ

第五條ノ二 農業保險組合ノ保險金額ハ左ノ各號ニ掲グル金額トス

一 水稻ニ在リテハ自作地段當四十五圓及小作地段當三十五圓

二 桑葉ニ在リテハ段當三十圓

三 麥ニ在リテハ段當二十五圓

四 水稻ヲ耕作スル小作地ノ小作料ニ在リテハ段當十圓

農林大臣ノ指定スル地區ニ於テ特別ノ事情ニ因リ前項第一號ノ金額ニ依リ難キ場合ニ於テハ農業保險組合ハ同號ノ金額ノ範圍内ニ於テ農林大臣ノ指定スル金額ヲ以テ其ノ保險金額ト爲スコトヲ得

第五條ノ三 農業保險法第五十六條第一項ノ規定ニ依リ農業保險ノ保險料國庫負擔金ノ額ハ農業保險組合ノ組合員ガ第一條ノ農作物ノ收穫上ノ損失ニ關スル共濟責任ヲ保險ニ付スル爲支拂フベキ保險料中左ノ各號ニ掲グル金額トス

一 純保險料ニ付テハ別表第一號ニ依リ算出シタル金額

二 附加保險料ニ付テハ別表第二號ニ依リ算出シタル金額ヲ基準トシテ農林大臣ノ定ムル金額

第五條ノ四 農業保險法第五十六條第二項ノ規定ニ依リ日本蠶絲統制株式會社ノ負擔金ノ額ハ農業保險組合ノ組合員ガ桑葉ノ收穫上ノ損失ニ關スル共濟責任ヲ保險ニ付スル爲支拂フベキ純保險料ニ付別表第三號ニ依リ算出シタル金額トス

第六條 國庫ハ農林大臣ノ指定スル地區ニ於テ農業保險組合ガ農業保險法第三十六條第一項ノ規定ニ依リ水稻ノ冷害ニ付組合員ニ對シ共濟金ノ交付ヲ爲ス事

業ヲ行フ場合ニ於テ當該農業保險組合ノ組合員方醸出スベキ共濟掛金ノ一部ヲ負擔ス
前項ノ規定ニ係ル農業保險組合ガ水稻ノ冷害ニ付組合員ニ對シ交付スル共濟金ノ額ハ左ノ各號ニ掲グル金額トス

一 自作地段當二十五圓及小作地段當二十圓
二 小作料ニ在リテハ段當五圓

第七條 前條第一項ノ規定ニ依ル國庫負擔金ノ額ハ農業保險組合ノ組合員方醸出スベキ共濟掛金ニ付別表第四號ニ依リ算出シタル金額トス

別表第一號

種別	農業保險組合ノ組合員ノ支拂フベキ段當純保險料	國庫負擔割合
水稻ノ自作地	三十錢迄ノ部分 三十錢ヲ超エ五十錢迄ノ部分 五十錢ヲ超エ五十分部分	三分ノ一 三分ノ一 三分ノ一
水稻ノ小作地	二十三錢迄ノ部分 二十三錢ヲ超エ三十九錢迄ノ部分 三十九錢ヲ超エ五十分部分	三分ノ一 三分ノ一 三分ノ一
麥ノ耕地	六錢迄ノ部分 六錢ヲ超エ十錢迄ノ部分 十錢ヲ超エ二十錢迄ノ部分	三分ノ一 三分ノ一 三分ノ一
桑ノ耕地	十四錢迄ノ部分 十四錢ヲ超エ二十四錢迄ノ部分 二十四錢ヲ超エ五十分部分	十二分ノ一 八分ノ一 六分ノ一

別表第二號

農業保險組合ノ被保險耕地面積	標準段當國庫負擔金額	
	水稻ノ自作地及桑又ハ麥ノ耕地	水稻ノ小作地
四千町歩迄	八錢	四錢
四千町歩ヲ超ユル千町歩	四錢	二錢
五千町歩ヲ超ユル千町歩	三錢	一錢五厘
六千町歩ヲ超ユル千町歩	二錢	一錢

業保險組合ノ組合員方水稻ノ收穫上ノ損失ニ關スル共濟ノ爲醸出スベキ共濟掛金ニ付別表第四號ニ依リ算出シタル金額トス

第十條 政府ノ行フ再保險ノ再保險金額ハ第一條各號ノ共濟ノ目的ノ種類別ニ農業保險組合聯合會ニ總再保險金額ヨリ總再保險金額ニ異常災害決定ノ基礎ト爲リタル標準被害率ヲ乘ジタル額ヲ控除シタル殘額トス

前項ノ標準被害率ハ農林大臣之ヲ定ム

第十二條 政府ハ第一條各號ノ共濟ノ目的ノ種類別ニ農業保險組合聯合會ノ農業保險組合ニ對スル支拂再保險金ノ總額ヲ聯合會ノ總再保險金額ニ第十條第二項ノ標準被害率ヲ乘ジタル額ヲ超過シタル場合ニ限リ聯合會ニ對シ再保險金ヲ支拂フモノトス

前項ノ場合ニ於ケル政府ノ支拂再保險金ノ額ハ聯合會ノ支拂再保險金ノ總額ヨリ總再保險金額ニ第十條第二項ノ標準被害率ヲ乘ジタル額ヲ控除シタル殘額トス

七千町歩ヲ超ユル千町歩	一錢	五厘
八千町歩ヲ超ユル面積	五厘	二厘五毛

備考

一 農業保險組合ノ被保險耕地面積ハ共濟責任期間開始當時ニ於ケル水稻ノ自作地及桑又ハ麥ノ耕地並ニ水稻ノ小作地ノ面積ノ合計ニ依ルモノトス

二 同一行ノ標準段當國庫負擔金額ヲ適用スベキ水稻ノ自作地及桑又ハ麥ノ耕地ノ面積ノ小作地トノ面積ノ割合ハ其ノ各總面積ノ割合ニ依ルモノトス

三 各農業保險組合ノ標準國庫負擔額ハ一及ニ依リ各行ニ付算出シタル被保險耕地面積ニ夫々水稻ノ自作地及桑又ハ麥ノ耕地ノ標準段當國庫負擔金額並ニ水稻ノ小作地ノ標準段當國庫負擔金額ヲ乘ジテ得タル金額ヲ合計シテ之ヲ算出スルモノトス

別表第三號

種別	農業保險組合ノ組合員ノ支拂フベキ段當純保險料	日本蠶絲統制株式會社負擔割合
桑ノ耕地	十四錢迄ノ部分 十四錢ヲ超エ二十四錢迄ノ部分 二十四錢ヲ超ユル部分	四分ノ一 八分ノ一 二分ノ一

別表第四號

種別	農業保險組合ノ組合員ノ醸出スベキ段當共濟掛金	國庫負擔割合
自作地	二十錢迄ノ部分 二十錢ヲ超エ三十五錢迄ノ部分 三十五錢ヲ超ユル部分	三分ノ一 三分ノ一 三分ノ一
小作地	十六錢迄ノ部分 十六錢ヲ超エ二十八錢迄ノ部分 二十八錢ヲ超ユル部分	三分ノ一 三分ノ一 三分ノ一

附則

本令ハ昭和十八年法律第二十一號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ノ引受ニ係ル農業保險ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

〔參照〕

昭和十三年十二月二十日勅令第七百八十二號農業保險施行令抄錄

險法施行令抄錄

第一條 農業保險法第一條第三項ノ共濟ノ目的タル農作物及小作料ハ左ニ掲グルモノトス

(左記略ス)

第五條第二項

農林大臣特ニ必要アリト認ムルトキハ純保險料率及附加保險料率ニ關スル定款ノ規定ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第六條 農業保險法第五十六條ノ規定ニ依リ國庫ノ負擔スベキ金額ハ農業保險組合ノ組合員ガ第一條ノ農作物ノ收穫上ノ損失ニ關スル共濟責任ヲ保險ニ付スル爲支拂フベキ附加保險料ノ限度トシ別表ニ依リ算出シタル金額ヲ基準トシテ農林大臣之ヲ定ム

第七條 前條ノ國庫負擔金ハ農業保險組合ノ組合員ノ爲ニ組合ニ之ヲ交付ス

前項ノ規定ニ依リ組合ニ交付スベキ國庫負擔金ノ一部ハ組合ニ對シ之ヲ交付スルニ代ヘ夫々農業保險組合聯合會及政府ノ受クベキ附加再保險料ニ充ツル爲農林大臣ノ定ムル額ニ依リ聯合會及農業再保險特別會計ニ之ヲ交付シ又ハ繰入ルコトヲ得

第十條 政府ノ行フ再保險ノ再保險金額ハ第一條各

號ノ共濟ノ目的ノ種類別ニ農業保險組合聯合會ノ總再保險金額ヨリ總再保險金額ニ通常純再保險料率ヲ乘ジタル額ヲ控除シタル殘額トス

前項ノ通常純再保險料率ハ農林大臣之ヲ定ム

第十二條 政府ハ第一條各號ノ共濟ノ目的ノ種類別ニ農業保險組合聯合會ノ農業保險組合ニ對スル支拂再保險金ノ總額ガ聯合會ノ總再保險金額ニ異常災害決定ノ基礎トナリタル標準被害率ヲ乘ジタル額ヲ超過シタル場合ニ限り聯合會ニ對シ再保險金ヲ支拂フモノトス

前項ノ場合ニ於ケル政府ノ支拂再保險金ノ額ハ聯合會ノ支拂再保險金ノ總額ヨリ總再保險金額ニ第十條第二項ノ通常純再保險料率ヲ乘ジタル額ヲ控除シタル殘額トス

第一項ノ標準被害率ハ農林大臣之ヲ定ム

陸軍の第一補充兵を海軍の第一補充兵と爲すの件公布

陸軍の第一補充兵を海軍の第一補充兵と爲すの件は、昭和十八年五月十五日付官報を以て左の如く公布せられた。

陸軍ノ第一補充兵ヲ海軍ノ第一補充兵ト爲スノ件

(昭和十八年五月十四日勅令第四百二十一號)

第一條 昭和十七年以前ノ徵集ニ係ル陸軍ノ第一補充兵ニシテ未ダ召集ヲ受ケザルモノハ必要ニ應ジ之ヲ海軍ノ第一補充兵ト爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ海軍ノ第一補充兵ト爲スベキ者ノ員數及兵種ニ付テハ陸軍大臣ト海軍大臣トノ協議ニ

基キ陸軍大臣之ヲ定ム

第二條 前條第一項ノ規定ニ依ル處分ハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ本人ノ本籍地所管ノ聯隊區司令官之ヲ行フ前項ノ處分ハ證書ヲ以テ之ヲ本人ニ通達ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

俘虜勞務規則等の公布

俘虜勞務規則及俘虜派遣規則中改正の件は昭和十八年五月二十日付官報を以て左の如く公布せられた。尙之に伴ひ俘虜勞務規則廢止の件及派遣俘虜取扱規則中改正の件も同日付官報を以て達せられた。

俘虜勞務規則 (陸軍省令第二百二十二號)

第一條 俘虜(將校タル俘虜ヲ除ク)ハ本令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ勞務ニ服セシムルコトヲ得但シ俘虜派遣規則ニ依ル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ勞務ハ俘虜ノ健康、技能、本國ニ於ケル地位等ニ應ジ之ヲ定ムルモノトス

將校タル俘虜ハ其ノ發意ニ基キ之ヲ勞務ニ服セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ本令ノ規定ヲ適用スルモノトス但シ賃金ハ之ヲ支給セズ

第二條 俘虜收容所長ハ俘虜收容所内ニ於テ俘虜ヲ勞務ニ服セシムルコトヲ得

第三條 俘虜收容所ヲ管理スル軍司令官又ハ衛戍司令官(以下單ニ俘虜收容所管理長官ト稱ス)ハ俘虜收容所以外ノ陸軍部隊ニ於テ俘虜ヲ勞務ニ服セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ勞務ニ服セシムル俘虜ノ人員、勞務ノ場所、種類、時間、期間等ニ關シ豫メ陸